



問 ゼロカーボンシティ 表明の主旨は

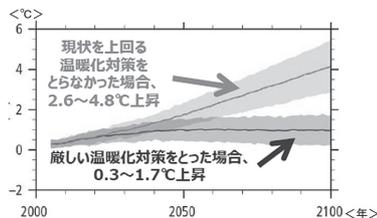
答 環境基本計画に位置付け展開する

問 東海村は令和2年7月28日、廃棄物と環境を考える協議会に加盟し、多くの自治体とともに2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目標とした宣言が行われた。東海村は既に多くの脱炭素化活動が進められ、CO₂削減効果についても、それぞれ評価が進められているが、これまでの活動の継続と今後の進め方について伺う。開発行為によるCO₂吸収効果削減は考慮されない等、全体評価のルールも含め検討すべきでは、考



新政とうかい
たけべ しんいち
武部 慎一 議員

平均気温からの気温上昇推計
(環境省地球環境局日本の約束草案(H28年1月)
IPCC第5次評価報告より抜粋)



複数の気候変動シナリオによる予測結果。温室効果ガス削減緩和策をとることで、上昇を抑えることが必要。

えを伺う。
答 協議会は、北茨城市の最終処分場に廃棄物を搬入する関東地方を中心に73の市町村で構成する。廃棄物減量化、資源化、循環型社会の構築等、情報交換等を行うことを目的に設立された。第6次総合計画に盛り込んだSDGsの理念にも合致する。今後は、その一員として、これまでの低炭素事業を推進しつつ、現在策定中の第3次環境基本計画にも位置づけ、ゼロカーボンシティに向けた取組を積極的に展開していく。

問 コロナ禍で 村民に大切な支援とは

答 ウイズコロナを見据えて対応

問 コロナ感染予防は、睡眠・バランスのとれた食事・運動が大切。村民がドアツードアで運動できるような散歩道の整備が必要。
答 散歩道の整備は、自治会をはじめボランティア活動に対して、必要な支援を行う。
問 43年も経過した外宿浄水場改修工事は。
答 外宿浄水場は随時改修を行い、安全・安心で安定的な水道水の供給に取り組む。



みすずきの会
えだ いっむ
江田 五六 議員



43年経った外宿浄水場の貯水槽のひび割れ

問 コロナ感染予防は、睡眠・バランスのとれた食事・運動が大切。村民がドアツードアで運動できるような散歩道の整備が必要。
答 コロナの整備は、老朽化対策を優先的に進める。上下水道工事後の道路の苦情には、速やかに対応する。
問 各補助事業については、コロナ禍の今こそ見直しが必要。ウィズコロナ時代に相応しい補助事業とは。
答 各補助事業は、各団体等の活動状況や、方向性を見ながら支援の在り方を検討する。

フラの長寿命化は。
答 事故発生や機能停止を未然に防ぐため、耐震化を合わせ、整備を進めている。
問 総延長380kmの村道整備の見通しは。
答 村道の整備は、老朽化対策を優先的に進める。上下水道工事後の道路の苦情には、速やかに対応する。

一般質問